こんな 活動です

「子供が育ち、人が活きる地域」づくり一学園を支える応援団ー

東京都杉並区

●活動名

●関係する学校名

杉並和泉学園学校支援本部ーいずみんなー

杉並区立小中一貫教育校 杉並和泉学園

指定·設置日 学校運営 地域学校 協働活動 平成 20 年度 開始年度 協議会 協働本部 ____ 平成27年10月1日設置 学校支援活動 地域課題解決学習 地域人材育成 活動区分 地域未来塾 放課後子供教室 配置人数 配置人数 統括的な地域学校協働 地域学校協働活動 推進員等の数 活動推進員等の数 1人 12人 ボランティア 延べ登録人数 企業·NPO ICT機器 の数 等との連携 活用 417人 参考URL https://shinsen-izumi.sakura.ne.jp/



月1回のコーディネーター会議にて

●連絡先 杉並区教育委員会学校支援課学校支援係 ☎ 03-5307-0758

- 〇本学園の学校支援本部は、旧和泉中学校を拠点に、統合の予定されていた和泉小学校、新泉小学校の3校の支援を目的に平成20年3月 に発足する。
- 予 ○平成27年10月に学校運営協議会が設置された後には、学校支援本部長及びコーディネーターが協議会の委員となり、学校経営方針や教育課程等と連動した支援が行われている。また、平成30年4月には、学校支援本部長を会長とする「杉並和泉学園校区地域教育推進協議会」が設置され、エリア内の大学、高校、NPO等との人的交流・人材発掘も活性化されている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ① 小・中学部(1学年から9学年)の9年間の教育を一括して支援している。
- ② 学校運営協議会と一体となった地域学校協働活動が行われている。
- ③ 教育課程内活動(キャリア教育、国際理解教育等)と教育課程外活動(補習、検定、部活動等)の両方を支援している。
- ④ サポートする人の数、支援時間、支援内容等が年々、増加・充実している。
- ⑤ 校区内の0歳から15歳までの子供たちの健全育成等を目指して設立された「杉並和泉学園校区地域教育推進協議会」に加盟する校区内の大学、高校、幼稚園・NPO法人等との連携を図った活動を進めている。
- ⑥ 校内に設置されている小学部生対象の「放課後居場所事業」にも支援・協力している。

【実施に当たっての工夫】

- ① 12名のコーディネーターが小・中学部、取組ごとの担当となり、講師斡旋、ボランティア派遣等の支援活動を行っている。各支援活動について
- は、月1回の「コーディネーター会議」で情報共有がなされ、絶えず改善等を図っている。
- ② 学校支援本部長、コーディネーターが学校運営協議会の委員となり、学校運営に参画している。

【関係機関・団体等との連携状況】

- ① 定期的な区所管課等との情報交換の機会が設けられ、他学校支援本部の先進的取組の情報が得られている。
- ② 地域教育推進協議会の設置により、エリア内の大学、高校、幼稚園、福祉施設等との互恵的な関係が構築されている。
- ③ コーディネーター、ボランティアに町会関係者が属する為、地域との連携も図られている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 〇キャリア教育、国際理解教育等の教育課程を進行するにあたり、コーディネーターの献身的なマネジメントにより、教員が児童生徒の指導に専念し、余裕のある中で質の高い体験や専門家等による指導の機会を作ることができた。
- 〇両学部において実施される補習等により、児童・生徒の学習面での躓きや学びたいという思いに応えることができた。結果、参加者の学習面の課題の改善が見られた。
- ○校外行事での教員の引率等の補佐により、児童・生徒の安全を確保することができた。
- 〇学習支援を行ってくれた方々と児童・生徒との関係が深まり、地域で挨拶を交わすようになった。 児童・生徒も地域の中で安心して過ごすことができるようになった。

● その他

〇校内にコーディネーターが常駐に近い状況で執務できる部屋を設定しており、教員と日常的なコミュニケーションが図られる状況にある。関係性の深まりが支援回数増や支援内容の充実に繋がっている。また、執務室がPTA室に隣接することから、保護者との協力関係が深まっている。



地域の方々と実施低学年の昔遊びを



(一~九年で実施)茶道の授業